

M. K. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

アルバイトをしてお金を貯めていました。イタリア語も勉強していました。

② 語学研修期間

A C E の期間中は、なかなかアメリカ人と会って友達になる機会が少ないので、自分から積極的に出会える方法を探し、パーティーを開いたりなどして交流しました。

③ 正規科目履修期間

・履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容（科目ごとに 100 字以内程度））

秋学期は、media literacy と French、E S L を 2 つ取りました。

自分のアドバイザーと E S L コーディネーターと相談し、学校長と相談し決めました。

Media literacy は、Mac を使った授業で Mac を使ったことのない私にとって大変な授業でした。秋学期終了までには、ビデオ編集までします。徹夜で broadcast studio にこもってビデオを作り上げました。

春学期は、global communication, psychology, criminology, French, ESL を取りました。

Global communication 背景知識がとぼしかったので、ついていくのが大変でした。アサイメントも多かったです。

教授は、とても優しくテスト前などフォローもすごくしていただきました。

Psychology 一番難しかったです。理科が苦手だったため、単語や内容も思った以上にややこしくテストも難しかったです。

Criminology すごく興味がありました。教授が、警察官だった経験もあり、実際に警察官が実際の犯罪シーンをプレゼンしてくる日があったりとたくさん学ぶことができました。

④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特になし

⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

E S L 期間中は、同志社女子の子と 2 人で寮に住んでいました。

秋学期はじまってからは、シングルを希望し fckes という寮に住みました。

Fkckes の寮は、freshman が多く、パーティーやアクティビティーもありました。

⑥ 長期休暇の過ごし方

友達が家に招待してくれたので、そこに遊びに行きました。

⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

エントリーはPCからしていました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

友達との何気ない会話、旅行中でのハプニングなどです。学校終わりに、食べに行ったり、友達の部屋でゲームしたり、アサイメントが終わらず、友達と徹夜したり、友達と過ごした日々が思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

人の入れ替わりにより去年と勝手が違ったことです。来年からは、後任者がくるようで今よりは良くなると思いますが、私の年は大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点

友達に恵まれました。友達が友達を呼び徐々に輪が大きくなっていきました。自分の学びたい分野がありました。その分野を通じて物の見方が変わり、将来に対しての考え方も変わりました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコン、お土産などです。

③ 語学力の向上等、留学の成果

以前より、英語が聞き取りやすくなり、話すときにつまづく回数が減ったように感じます。語学力よりも精神的につよくなったと思います。

困難を乗り越える力がつきました。

又、よく物事を考えました。考える力もついたと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は、楽しいことではありません。自分から積極的に友達作りに励み、助け合いながら楽しい留学生活を送ってください。

IV. 写真

パーティーを開いた時の写真です。お好み焼きとすき焼きを作りました。ESL期間中です。このときに仲良くなった人とは、あまりキャンパスで秋学期以降会えませんでした。数人とは、今でも友達です。

友達の家で日本食を作った後ボーリングに行ってきました。日本食は、なかなか上手くで

きました。ボーリングは、日本より距離がちかく少し古かったです。

